



2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年8月10日

上場会社名 ラサ商事株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3023 URL https://www.rasaco.co.jp
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 井村 周一
 問合せ先責任者(役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 桜木 和陽 (TEL) 03(3668)8231
 四半期報告書提出予定日 2022年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	6,644	△10.1	349	△15.3	385	△19.2	265	△22.5
2022年3月期第1四半期	7,391	24.1	412	57.2	476	73.3	342	92.7

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 286百万円(△3.2%) 2022年3月期第1四半期 295百万円(29.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2023年3月期第1四半期	円 銭 22.81	円 銭 —
2022年3月期第1四半期	29.44	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	30,974	19,096	61.7
2022年3月期	31,387	19,156	61.0

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 19,096百万円 2022年3月期 19,156百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	21.00	—	29.00	50.00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	25.00	—	25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	13,000	△13.3	380	△61.6	420	△61.0	280	△63.9	24.08
通期	28,000	△10.6	1,900	△25.5	2,000	△28.9	1,450	△28.0	124.71

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期1Q	11,983,838株	2022年3月期	11,983,838株
② 期末自己株式数	2023年3月期1Q	356,976株	2022年3月期	356,976株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期1Q	11,626,862株	2022年3月期1Q	11,626,862株

(注) 役員向け株式交付信託が保有する当社株式が、期末自己株式数及び期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含まれております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料の3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8
(収益認識関係)	9
3. 参考情報	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症に対する各種政策の効果もあり、企業収益は持直しの傾向がみられております。しかしながら、感染再拡大による社会経済活動への影響やウクライナ情勢の長期化の影響は依然として残り続け、先行きは不透明な状況が続いております。

このような経済環境のもとで当社グループは、2023年3月期から2025年3月期までの3か年を計画期間とする新中期経営計画「“Resilience” Rasa 2024 ～再生から飛躍へ～」を策定し、グループ・ガバナンスの確立を最重要課題と位置づけ、グループの連携をさらに強固なものとしつつ、更なる飛躍を目指し、持続的な企業価値向上に取り組んでまいりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は、主にプラント・設備工事関連が減収となったことを受けて66億44百万円となり、前年同四半期と比べ7億47百万円(△10.1%)の減収となりました。

利益につきましては、売上の減収を受けて、営業利益は3億49百万円となり、前年同四半期と比べ63百万円(△15.3%)の減益となりました。また、経常利益は3億85百万円となり、前年同四半期と比べ91百万円(△19.2%)の減益となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は2億65百万円となり、前年同四半期と比べ77百万円(△22.5%)の減益となりました。

当第1四半期連結累計期間におけるセグメント別の状況は、次のとおりです。

資源・金属素材関連では、世界的な資源価格の高騰に加えて、急激な為替相場の変動も影響し、当社取り扱い原料の相場価格が上昇したことから、関連部門の売上高は19億46百万円となり、前年同四半期と比べ1億6百万円(5.8%)の増収となりました。また、売上増収からセグメント利益は1億58百万円となり、前年同四半期と比べ73百万円(87.7%)の増益となりました。

産機・建機関連では、海外向けシールド掘進機の販売がやや軟調となりましたが、国内においては主要ポンプに加えBCP関連ポンプの販売も寄与するなど産機商品は概ね堅調に推移し、関連部門の売上高は16億円となり、前年同四半期と比べ1億56百万円(10.8%)の増収となりました。また、売上増収からセグメント利益は45百万円(前年同四半期は64百万円の損失)となりました。

環境設備関連では、水砕スラグ製造設備機器の部品販売が好調であったものの、電力及び民間向けポンプ本体の大口案件が一巡したことから、関連部門の売上高は3億28百万円となり、前年同四半期と比べ82百万円(△20.0%)の減収となりました。また、売上減収からセグメント利益は9百万円となり、前年同四半期と比べ89百万円(△90.7%)の減益となりました。

プラント・設備工事関連では、前期と比べ大型工事の取引高が減少したことにより、関連部門の売上高は10億30百万円となり、前年同四半期と比べ10億28百万円(△50.0%)の減収となりました。また、売上減収からセグメント利益は47百万円となり、前年同四半期と比べ1億67百万円(△78.0%)の減益となりました。

化成品関連では、新型コロナウイルス感染症や半導体不足の影響により、自動車、潤滑油分野での受注減少となりましたが、電線、建材分野での受注が堅調に推移したことから、関連部門の売上高は16億76百万円となり、前年同四半期と比べ95百万円(6.1%)の増収となりました。また、売上増収からセグメント利益は38百万円となり、前年同四半期と比べ2百万円(5.7%)の増益となりました。

不動産賃貸関連では、賃貸ビルのテナント入居により空室が解消されたことから、関連部門の売上高は92百万円となり、前年同四半期と比べ3百万円(3.8%)の増収となりました。また、修繕費、人件費などの減少があったことからセグメント利益は50百万円となり、前年同四半期と比べ7百万円(16.8%)の増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は309億74百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億12百万円の減少となりました。

(流動資産)

流動資産は183億48百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億54百万円の減少となりました。

これは主に、現金及び預金で8億40百万円の増加があった一方で、受取手形、売掛金及び契約資産で12億8百万円の減少があったことによるものです。

(固定資産)

固定資産は126億25百万円となり、前連結会計年度末に比べ58百万円の減少となりました。

これは主に、建物及び構築物で26百万円、繰延税金資産で15百万円の減少があったことによるものです。

(流動負債)

流動負債は85億28百万円となり、前連結会計年度末に比べ94百万円の減少となりました。

これは主に、短期借入金で7億40百万円の増加があった一方で、支払手形及び買掛金で5億52百万円、工事未払金で3億4百万円の減少があったことによるものです。

(固定負債)

固定負債は33億49百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億57百万円の減少となりました。

これは主に、長期借入金で2億73百万円の減少があったことによるものです。

(純資産)

純資産は190億96百万円となり、前連結会計年度末に比べ60百万円の減少となりました。

これは主に、配当金の支払により利益剰余金が3億47百万円減少した一方で、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上に伴い利益剰余金が2億65百万円増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2022年5月13日付の2022年3月期決算短信で公表いたしました2023年3月期第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,445	5,286
受取手形、売掛金及び契約資産	9,518	8,310
電子記録債権	1,767	1,800
商品及び製品	2,633	2,711
未成工事支出金	19	67
原材料及び貯蔵品	10	8
その他	308	163
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	18,702	18,348
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4,444	4,444
減価償却累計額	△2,738	△2,765
建物及び構築物（純額）	1,705	1,678
機械装置及び運搬具	460	460
減価償却累計額	△413	△418
機械装置及び運搬具（純額）	47	42
土地	6,000	6,000
その他	1,742	1,692
減価償却累計額	△1,660	△1,618
その他（純額）	82	74
有形固定資産合計	7,835	7,795
無形固定資産		
ソフトウェア	177	166
ソフトウェア仮勘定	55	56
その他	0	0
無形固定資産合計	232	222
投資その他の資産		
投資有価証券	3,308	3,311
退職給付に係る資産	42	39
繰延税金資産	117	101
保険積立金	982	994
その他	174	167
貸倒引当金	△7	△7
投資その他の資産合計	4,616	4,607
固定資産合計	12,684	12,625
資産合計	31,387	30,974

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,169	2,617
電子記録債務	1,471	1,586
工事未払金	544	239
短期借入金	1,690	2,430
1年内返済予定の長期借入金	440	591
未払法人税等	420	134
契約負債	123	208
賞与引当金	310	143
工事損失引当金	3	—
その他	450	576
流動負債合計	8,622	8,528
固定負債		
長期借入金	2,904	2,630
繰延税金負債	355	348
退職給付に係る負債	24	26
役員株式給付引当金	95	119
その他	227	224
固定負債合計	3,607	3,349
負債合計	12,230	11,878
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,076	2,076
資本剰余金	1,837	1,837
利益剰余金	15,269	15,187
自己株式	△183	△183
株主資本合計	19,000	18,917
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	166	159
繰延ヘッジ損益	△10	18
その他の包括利益累計額合計	156	178
純資産合計	19,156	19,096
負債純資産合計	31,387	30,974

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)
売上高	7,391	6,644
売上原価	6,023	5,286
売上総利益	1,368	1,358
販売費及び一般管理費	956	1,008
営業利益	412	349
営業外収益		
受取利息及び配当金	13	16
保険解約益	47	—
持分法による投資利益	13	26
その他	3	7
営業外収益合計	77	50
営業外費用		
支払利息	6	6
保険解約損	6	5
その他	0	3
営業外費用合計	13	14
経常利益	476	385
特別利益		
投資有価証券売却益	32	—
特別利益合計	32	—
特別損失		
固定資産除却損	—	0
特別損失合計	—	0
税金等調整前四半期純利益	509	385
法人税等	166	119
四半期純利益	342	265
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	342	265

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益	342	265
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△35	△7
繰延ヘッジ損益	△11	29
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	△0
その他の包括利益合計	△46	21
四半期包括利益	295	286
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	295	286
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						合計
	資源・金属 素材関連	産機・建機 関連	環境設備 関連	プラント ・設備 工事関連	化成品 関連	不動産 賃貸関連	
売上高							
日本	1,630	1,147	410	2,058	1,496	—	6,744
アジア	197	222	—	—	66	—	485
その他	11	75	—	—	17	—	103
顧客との契約から 生じる収益	1,839	1,444	410	2,058	1,580	—	7,333
その他の収益	—	—	—	—	—	58	58
外部顧客への売上高	1,839	1,444	410	2,058	1,580	58	7,391
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	0	—	30	31
計	1,839	1,444	410	2,059	1,580	89	7,423
セグメント利益 又は損失(△)	84	△64	98	215	36	42	412

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	412
その他	—
四半期連結損益計算書の営業利益	412

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

記載事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						合計
	資源・金属 素材関連	産機・建機 関連	環境設備 関連	プラント ・設備 工事関連	化成品 関連	不動産 賃貸関連	
売上高							
日本	1,652	1,264	328	1,030	1,616	—	5,892
アジア	288	188	—	—	51	—	528
その他	4	148	—	—	8	—	160
顧客との契約から 生じる収益	1,946	1,600	328	1,030	1,676	—	6,582
その他の収益	—	—	—	—	—	62	62
外部顧客への売上高	1,946	1,600	328	1,030	1,676	62	6,644
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	0	—	—	—	30	30
計	1,946	1,600	328	1,030	1,676	92	6,674
セグメント利益	158	45	9	47	38	50	348

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	348
その他	0
四半期連結損益計算書の営業利益	349

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
記載事項はありません。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「注記事項(セグメント情報等)」に記載の通りであります。

3. 参考情報

個別業績の概要

2023年3月期第1四半期の個別業績(2022年4月1日～2022年6月30日)

(1) 個別経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	3,875	4.9	213	305.8	420	254.5	345	245.2
2022年3月期第1四半期	3,694	2.6	52	28.9	118	41.4	99	73.4

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	29.44	—
2022年3月期第1四半期	8.53	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	19,995	14,315	71.6
2022年3月期	19,917	14,283	71.7

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 14,315百万円 2022年3月期 14,283百万円